

## 真鶴町グランドデザイン（案）への意見募集結果について

### 1 意見募集の概要

題名	真鶴町グランドデザイン（案）
公表の日	平成31年1月25日（金）
意見提出期間	平成31年1月25日（金）から2月14日（木）まで
町民への周知方法	町内公共施設およびホームページ
結果の公表日	平成31年3月20日（水）

### 2 結果の概要

意見数（提出者数）	17人
インターネット	6人
郵送	3人
直接持参	7人
ファックス	1人
無効な意見提出	0人

### 3 提出意見の区分

区分	意見の考慮の結果	件数
A	意見を踏まえ、案に反映したもの	11件
B	意見の趣旨が既に案に反映されているもの	7件
C	今後の検討のために参考とするもの	25件
D	その他（質問、課題など）	15件
合 計		58件

### 4 具体的な内容（意見は原文のまま掲載しています。ただし、項目立てや個人名の削除など、提出者の意思に影響しないよう一部修正を加えています。）

No.	意 見	種別	区分	町の考え方
1-1	<p>1 取り組みの方向性が全体として総花的な印象を受ける。各地区間のダブリを無くし、町として全体の整合性を取り、また各地区内の似通った取り組みをまとめて各地区16～17項目を12項目程度に絞ったらどうか。</p> <p>(1) 例えば、岩漁港周辺地区と真鶴港周辺地区でのダブリ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁業を希望する若者への指導による担い手不足の解消⇔地元産業（漁業と石材業）の活性化と担い手育成</li> <li>・子どもが安全に遊べて、大人が見守ることができるような環境や親水公園などの施設の整備⇔子どもが安全に遊べ、誰もが気軽に利用でき、憩える親水公園の整備</li> </ul> <p>(2) 例えば、岩漁港周辺地区内での似通っているもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然豊かな環境を売りにした、移住の促進⇔空家を有効活用した、地域への移住の促進…移住の点では同じ</li> <li>・漁港で取れた海産物を食べることができる場所を整備し、海産物のPRに活用⇔海辺という環境を活かした、若い人も1年を通して楽しめるようなアクティビティの整備…海の近くという点で共通している</li> </ul>	全般	<b>D</b>	<p>グランドデザインは計画ではなく、真鶴町が目指す方向性を示した構想ですので、掲載したすべての事業を実施するものではありません。その時々予算や状況等から判断するため、さまざまな分野から実施の可能性のある事業を掲載しています。</p> <p>そのため、項目数を限定するのではなく、現時点での町民からの意見や町の考えを踏まえ必要な取り組みを掲載しており、また、地区ごとに整理していることから、あえて重複するような事業を掲載していません。</p>
1-2	<p>2 真鶴半島地区でのお林の保全は大変重要と思えますし、これからも大切にすべきだと感じますが、クロマツに拘ることはないと考えます（私は樹木の専門家でないが敢えて意見を述べたいと思えます）。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年3月号「広報」の国立研究開発法人森林総合研究所正木先生の見解にある通り、クロマツが衰退している中、クスノキやスダジイなどの広葉樹林は存在感を増している。クロマツは、次に続く広葉樹が育ちやすい環境を整えてくれる。樹種が入れ替わっていくことによって魚付き保安林としての機能が下がることはない。</li> <li>・西日本ではかつて（5,000～6,000年前）縄文時代前期頃は、常緑広葉樹林の原生林だったが、2,000年前以来、須恵器や埴輪を作るための燃料として広葉樹を伐採され、アカマツ林が形成された。ところが近年、燃料革命と過疎化の人手不足によりアカマツ林は放置され、かつては柴、下草の段階で刈り取られていた広葉樹の幼木が成長し広葉樹化が進行している（「縄文の森の復活」佐原真）。</li> </ul>	半島	<b>B</b>	<p>15ページ取り組み3項目目「寿命を迎えるマツの有効活用（伐採・ブランディング・PRなど）の検討」で反映しています。既に寿命となり成長していないマツ（マツの寿命は300～400年）については、アンプル注入による松くい虫対策事業を実施せず、伐採して活用することも検討しています。</p>
2-1	<p>日本の人口が減少に転じている昨今、何をやっても既に遅いと思えますが、究極な真鶴再生の案を提案させていただきます。</p> <p>グランドデザインの大きな目的は「人口減少や少子化対策」です。既に7,000人を切る勢いで減少している真鶴の人口はもし6,000人を切った時、5,000人を切ったとしたら、街並みが良いから移り住んできたとか、環境が良いから永住の地に決めたとかいう人達は、人口減少税収減少の末、行政のサービスも行き届かなくなるとしても、まだ同じ意見を言い、その挙句の果て、再度他の地域に移り住むと言い出すのではないかと懸念します。</p> <p>街並みを守り昭和初期の街並みそのままが良いから住んでいる人達は、その街並みが景観そのままならば廃墟だらけでも良いと思っているのかもしれませんが。既に空き家も多く建て替えのできない道路付けの悪い立地が多いのが今の真鶴です。</p> <p>日本の人口が減少する中で、今の日本にはない思い切った空間を造らないと首都圏に少し遠い働く場所も少ない町に移住する人を増やすのは中々難しいのではないかと考えます。</p> <p>グランドデザインと大きなテーマなので、そのままグランドデザインの案の画像を数枚添付します。（すべてネットからの抜粋です。）画像を見れば具体的な言葉がなくても理解できるのではないかと思います。【添付資料1】</p> <p>もともと港から発展した真鶴は港を活性化しない限り町の再生発展はないと思えます。子育て世代の人達が子どもを育て生活しながらウキウキするのはこれしかないかと思います。</p>	全般	<b>D</b>	<p>19ページ取り組み7項目目「上から見下ろす港の景色、船から見渡すまちなみの景観など、美の基準を生かした真鶴港周辺の景観の保持」で表現されているとおり、美の基準を生かしたまちづくりを進めていく構想となっています。</p> <p>【添付資料1】</p> <p>提出された画像は、権利関係が明らかでないため掲載しておりません。</p> <p>メキシコ「グアナファト」・カナダ「セントジョンズ」・デンマーク「ニューハウン」・イタリア「チンクエッレ」・「ブラーノ島」・ポーランド「ヴロツワフ」の風景画像8枚が添付</p>

No.	意見	種別	区分	町の考え方
	<p>海が見える景観が良い立地にすべての住宅があるわけではありません。陽当りも悪く、景色も無く、自動車も入らない立地に居を構えても、一步街に出ればインスタ映えする色彩がある街並み、原色に映える真鶴港、成功すれば必ず全国でも有名な港町になると確信しています。まず今の日本にこの発想と同時に大胆に実行している市町村はないからです。</p> <p>今の真鶴町を活かすデザイン（絵）は風景画ではなく、現代アートです。土地、家を求める人が自由にデザインできるグラウンドを造る手伝いを町が積極的に協力していくことが人口を増やす一つの手段です。</p> <p>あるのは国が定めた建築基準法・都市計画法のみで、出来るだけ自由な方が良くし縛りが無い方が良いです。</p> <p>すべての芸術家、絵描き、彫刻家、デザイナー、子育て中又はこれからの世代、首都圏居住者の別荘・別宅として全国にアピールします。</p> <p>しかし街並みができるまで数十年は掛かると思います。3原色～5原色を使った家は申請して認められれば固定資産税の割引（5～20%とか）を受けられる方法も推進する具体策です。</p> <p>真鶴港、岩漁港に活気が出れば必ず町全体に波及します。</p>			
2-2	<p>具体的には真鶴港周辺に関してですが、実際は岩漁港周辺にも共通します。</p> <p>1 すべての規制の緩和又は撤廃</p> <p>2 建て替えができない立地への町のサポート、県と協力してどのようにしたらよいか方向性を示し全面協力する。</p> <p>(1) 建築基準法上の道路に面していない土地</p> <p>(2) 高さがある自然石間知ブロックの上にある立地の建築方法 他</p>	岩漁港 真鶴港	D	8ページの真鶴町のポリシーにあるとおり、今まで大切に守ってきた真鶴の自然や風景を後世に残すことは重要であるとされ、「真鶴らしさ」が失われないようにする必要のあることから、地区の雰囲気や壊さないルールは最低限あるべきと考えております。
2-3	<p>3 空き家に関してはある一定期間住んでいない住宅に関しては積極的に利用を働きかけ使用目的明確化に努力する。（実住、賃貸、別荘、売却）</p> <p>4 現在、真鶴港は灯台付近と貴船神社先の防波堤は立ち入り禁止ですが、素晴らしい観光資源が眠っている状態だと思います。釣りは全面禁止でも良いので歩けるようにした方が良いです。大きく看板で危険に関しては自己責任と明確化する必要があり、一部手すりも必要になります。</p> <p>5 港付近の漁師の網、他整理して綺麗に、固定ベンチなどを所々に置くのも1つです。港周辺の清掃を徹底する。そうするとすべてに連鎖して釣り客、飲食等磯料理を求める客、挙句は魚も売れる可能性はあります。などなど・・・</p> <p>町の人口減少を止めて人口増加と維持をしていくために、合法的かつ税金を極力使わないでできるあらゆる手段を使っても積極的に実行していかないといけない領域に来ていると感じています。できるだけ規制緩和して民間（個人又は法人）に任せる事です。</p> <p>一説には2050年には日本の人口は約8,000万人台になると予測されています（あくまで最悪の予測です）。その計算割合で行くと2050年には真鶴町の人口は約4,500人になります（本当に予測通りになる可能性はあります）。もしかしたら村に格下げですか？</p> <p>日本の人口が凄いい勢いで減少していく中で、真鶴港、岩漁港にしかできない案だと真面目に考えて応募します。</p>	岩漁港 真鶴港	C	取り組みを具体化する際の参考にさせていただきます。
3-1	<p>1 岩漁港周辺地区</p> <p>歴史地区として史跡めぐりのハイキング客と海水浴客の誘致</p> <p>(1) 町外の観光客や海外からのインバウンド客に対する道祖神や史跡巡りハイキングや宿泊の案内</p> <p>(2) きれいな海と砂浜の岩海水浴場への海水浴客の集客</p>	岩漁港	B	13ページ取り組み3項目目「岩地区の歴史・文化・産業をたどることのできる探訪ツアーなどを整備」及び4項目目「海辺という環境を活かした、若い人も1年を通して楽しめるようなアクティビティの整備」に反映しています。
3-2	<p>2 真鶴半島地区</p> <p>半島全体を海と森の遊び場として集客する</p> <p>(1) ファミリー層やシルバー層が一日中ゆっくり楽しく過ごせる施設の整備</p> <p>(2) 帰りに地場の魚、干物等の倒産品を販売するためのしゃれた店舗の設置</p>	半島	B	15ページ・16ページの各取り組みに反映しています。
3-3	<p>3 真鶴駅周辺地区</p> <p>道の駅の設置や朝市の定期的な開催</p> <p>(1) 観光客や町内外のお客に対し、地元の特産野菜や果物、干物や鮮魚などを中心に途中下車して買いたくなるような品揃えをする。そのためには豊富な商品知識による接客サービスも大切。</p>	駅	C	取り組みを具体化する際の参考にさせていただきます。
3-4	<p>4 真鶴港周辺地区</p> <p>商店街を単なる買い物や飲食の場とするだけでなく、地域生活者のための「コミュニティ機能」「文化的機能」を含んだ複合的な機能、つまり「出会い」「語り」「うるおい」の空間の提供、および商店街の快適性の充実</p>	真鶴港	C	取り組みを具体化する際の参考にさせていただきます。

No.	意 見	種別	区分	町の考え方
	(1) 「多目的集会場」「娯楽室」などを設け「街ゼミ」「料理教室」「各種カルチャー教室」などの実施 (2) 不足業種、業態の誘致、特に生鮮野菜や精肉店 (3) 交通安全性の向上。歩行者の安全性と駐車場・駐輪場の必要性			
3-5	5 真鶴町全体 (1) 1～4の各地区の特徴のある対応策を考えて相乗効果を上げる。 (2) 町外の観光客や海外からのインバウンド客を引き寄せ、町全体の回遊性を高める。 (3) 駅前の賑わいが不足しているため、道の駅や朝市、夕市などを開催して顧客の途中下車を誘い、売上増加と商圈の拡大を図る。 (4) 真鶴名物の新たな商品開発、過去の事例としてはイカ墨コロッケ、カイワリ、イカの口などがある。 (5) 伊豆・湯河原・熱海への通り過ぎ防止のために大型観光バスが止められる駐車場の設置（道の駅の設置も含む） (6) 6次産業を活用した漁協直営の食堂の設置（平塚、大磯が成功している）。 (7) 真鶴に一度も足を運んでいただいていない人に真鶴を知っていただく機会を作る。具体的には商連かながわ主催で行っている商店街観光ツアーの活用など。 (8) 商店街の活気を取り戻すために神奈川県商業流通課で行っている補助金事業への積極的な参加。 (9) 町全体に坂が多く、イタリアのナポリに近いイメージがあるため、東洋のナポリとして町の魅力を日本全国や海外に発信し、「100年経ってもにぎわいのある町」に発展させる。	全般	C	グランドデザインは構想のため、取り組みを具体化する際の参考にさせていただきます。
4	先日の説明会に参加させていただきました。100年経ってもにぎわいのある町がコンセプトのようです。それには交通アクセス環境整備が一番です。私は湯河原町で家主同居型民泊事業を営んでおります。湯河原町まち・ひと・しごと創生総合戦略プラン【添付資料2】を拝見したところP39に小田急線ロマンスカー乗り入れ誘致事業なるものが載っておりました。具体的な目標数字が明示されており驚きました。平成31年度、今年とても達成できる数字ではありません。訂正、削除を求めたところ、会議で決まったことだからご理解くださいとの一点張りでした。毎年、検討、改訂しているとのことなのですが、どんな会議をしているのか不思議に思いました。 そこでこの誘致事業は強力に推進して欲しいと思っています。湯河原駅だけ停車するわけではありませんので、この実現へ向けて真鶴町のグランドデザインにも加えていただければと思っています。他の自治体のまち・ひと・しごと創生プランには、この誘致計画は出ていません。湯河原町のひとりよがりなのかもとも思います。近隣関係自治体と連携し、東海道線への乗り入れをグランドデザインの核に進めていただきたいと思います。検討いただければ幸いです。 4つの地区ともににぎわいの創出には、アクセス環境の整備が一番です。その核になるのが湯河原町が提唱する事業です。 カキの養殖事業成功を期待します。真鶴ブランドになることを期待します。	全般	D	交通インフラ整備は、生活利便性の向上に資するものと認識しています。  【添付資料2】 参考資料として、湯河原町まち・ひと・しごと創生総合戦略プランの写し2枚が添付
5-1	1 岩漁港周辺地区グランドデザインに対する意見 石材業の記述が「小松石」として、P14には記載されていますが、P12を見ると、漁業のことしか触れられていません。そもそも石材業はJRの線路の山側に多くあります。 岩漁港とは別に、第5の地域として「真鶴・岩山間部」を設けないと分かりにくいです。 それとも真鶴町を特徴づける石材業も、将来が見込めないため優先度が下げられたのでしょうか。 長坂住宅は真鶴では大規模な公営住宅ですが、岩漁港からはだいぶ離れています。長坂住宅も「真鶴・岩山間部」に含まれると想定します。	岩漁港	A	13ページ取り組み3項目目の文中、岩地区での石材業を考慮し、「岩地区の歴史・文化をたどることのできる歴史探訪ツアーなどを整備」を「岩地区の歴史・文化・産業をたどることのできる探訪ツアーなどを整備」に修正しました。
5-2	2 真鶴半島地区グランドデザインに対する意見 真鶴半島は、県立公園としての機能を充実することが主な取り組みであるため、県との協業を考慮したほうが必然ですが、その記載が見つかりませんでした。「県事業」の記載はP22しか見つかりませんでした。 この地区は県立公園であるため人が住む場所が少なく、取り組みとしては、公園への交通や施設の充実がメインとなるため、他の地区と同列に扱うとレベル感が合いません。人が多く住んでいる真鶴港とセットで考えたほうが良いのではないのでしょうか。	半島	D	グランドデザインは真鶴町の方向性を定めるものであるため、県ではなく町主体として考えています。個別計画の策定や事業化に際しては、県と連携していきます。
5-3	3 真鶴港周辺地区グランドデザインに対する意見 (1) 岩漁港と同様に、この地域は漁業がメインですので、P18に石材業を混ぜて記載すると方針が分かりにくくなります。漁港の話と、石材と一緒にすると混乱します。地区は分けるべきです。 (2) 里海ベースが何も考慮されていませんが、真鶴町で唯一道の駅のように扱える施設と想定しますが、何も考慮しないのでしょうか。魚座に集約・移転して拡大されるのでしょうか。P22の「駅周辺に道の駅等の誘致」のほうが車で通やすくアクセスしやすいため、	真鶴港	C	取り組みを具体化する際の参考にさせていただきます。

No.	意見	種別	区分	町の考え方
	有効かと考えます。短期で道の駅を駅周辺に簡易的に設けるなどスモールスタートしたほうが良いと思います。			
5-4	<p>4 真鶴駅周辺地区グランドデザインに対する意見</p> <p>(1) P22では、「駅北側への商業施設の誘致や、公共施設の有効活用の検討」と書かれているが、ここで言う「公共施設」とは真鶴中学や体育館のことを指しているか曖昧です。</p> <p>そもそも4つの主要地区に、町民センターや役場が含まれていません。役場周辺は小田原百貨店があり、町の中核となっていますが、「真鶴中央」など命名して新たに追加する必要があると思います。</p> <p>(2) P22やP12でヘリポートの記載があるが、有事のみを想定しているのでしょうか。災害や救急だけでは稼働率が低く、また、観光地という特色もあり、観光ヘリを許可するなどヘリポートのフル活用も必要ではないでしょうか。</p> <p>(3) P23「駅前が無料wi-fi」とあるが、電話線とルーターがあればwi-fiは素人でもすぐに設置しているため、グランドデザインの範疇ではなく、将来展望が浅すぎます。道の駅構想や、真鶴駅の構想を想定したイメージのほうが望ましいです。</p> <p>真鶴駅前には北側の開発やロータリー、渋滞の解消など多くの課題があるにも関わらず、P23「駅前が無料wi-fi」の記載からして、真面目に将来を考えていないと思いました。</p>	駅	C	取り組みを具体化する際の参考にさせていただきます。
5-5	<p>5 その他グランドデザイン全体に対する意見</p> <p>(1) P11グランドデザインは、岩地区の多くが地図にさえも掲載されておらず不快な思いをしました。岩地区の山側（JR線路から山側）は真鶴町から外されてるのでしょうか。町営長坂住宅も、松本農園も主要地区に含まれていませんでした。「主要地区」で特定の地域に絞る考え方が、ALL真鶴の精神に反していると思います。主要地域から外れた人たちは、引っ越したほうがよろしいのでしょうか。いずれか該当するようなイメージに見直すべきです。</p> <p>真鶴は岩山間部や、役場・小田原百貨店中心に多くの方が住んでいますが、グランドデザインに含まれていないのが残念でした。</p> <p>(2) 湯河原方面や江の浦方面との連携が考慮されていません。グランドデザインでは真鶴町に接する「湯河原」「小田原」「箱根」「伊豆」という言葉が一切出てきませんが、これらの地域に多くの観光客が取られるのは事実ですし、真鶴だけ行って帰るお客様は少ないと想定されます。真鶴が上記の自治体と対等に競争できるとは思えません。コバンザメのごとく、隣の自治体のビジネスと連携を考慮した取り組みが見つかりませんでした。</p> <p>真鶴が生き残ることを真剣に考えているならば、想定・記載して然りと考えます。</p>	全般	A	11ページの地図は、真鶴町全体をイメージしやすい地図に修正しました。
5-6	<p>■ P13の短期事業の概算事業費について</p> <p>岩漁港の割合が65%を占めており優先度が高いと理解しましたが、内訳の精査が必要です。</p> <p>(1) 内訳の多くを岩牡蠣の養殖に投資されており、リスクがあります。グランドデザインに記載されている短期事業全体の46%が岩牡蠣を占めており、予算構造がアンバランスです。</p> <p>(2) 漁業希望の若手指導に800万計上しており、若手も定着するか不透明であるため、効果が期待できません。下記のような活動でしたら理解できます。</p> <p>①海洋大学など大学や、北海道や東北などの地方の水産高校との産学官共同研究・人材の募集・斡旋等</p> <p>②漁業を希望する職転換 例：脱サラして「漁師」</p> <p>③漁業希望など真鶴の産業へ大きく貢献する若手へ、宿舍の提供（空き家の改造費）</p> <p>(3) 全体的に美の基準の影響か、真鶴のリピーターとして期待できる不動産関連（別荘・マンション）の取り組みの観点が漏れています。本当にたくさんの人たちが訪れる真の施策を検討したいです。カキだけで何とかしようというのは賛成できません。</p> <p>■ P16の短期事業の概算事業費について</p> <p>多くが県立公園にもかかわらず、県事業の取り組みが計上されていません。また、現時点で計画されている各事業も他の地区とも重複があり精査が必要です。</p> <p>(1) 海洋教育の推進 は岩漁港でも800万計上しており、町全体で教育費の割合が高すぎます。代替案として人材の斡旋や宿舍の提供を提案いたします。（岩漁港の意見を参考にしてください）</p> <p>(2) 松くい虫など環境保全が重要なのはわかりますが、8000万は予算を使い過ぎです。グランドデザインに記載されている短期事業の予算のうち、全体の20%を占めています。逆に、真鶴町に訪れる観光客へ効果的と想定される取り組みの予算が少なすぎます。</p> <p>①お林や海岸ルール策定・・・環境保全・マナーに有効</p> <p>②案内板等の整備・・・案内板が現状不足しており有効</p>	全般	D	グランドデザインに掲載されている短期事業は、既に着手しているもの及び他の計画等で実施を位置付けた事業を記載しております。提案の内容は、今後具体的な取り組みを検討する際の参考にさせていただきます。

No.	意見	種別	区分	町の考え方
	<p>(3) 花を活かした半島の整備、推進 500万はかけすぎです。半島の誘客に短期で費用対効果があると考えられません。 (花以前に、半島自体の存在を知られていないため) 真鶴半島のPRに力を入れるべきです。</p> <p>■ P19の短期事業の概算事業費について 「貴船まつり等のイベントの周知・宣伝」で1400万とありますが、PRだけで1400万は使い過ぎです。貴船祭りは年の数日しかないイベントであり、かつ平日の場合もあるため、費用対効果が望めません。他のイベントを諸々中心に据える必要があると考えます。逆に、岩牡蠣の予算を減らし、下記に追加投資したほうが集客が期待できると考えます。</p> <p>(1) なぶら市など、貴船以外のイベントをJR等の鉄道交通関連起用と提携した各種ツアーの誘致 都内ではJRの広告は、湯河原・伊豆の広告ばかりで、真鶴の広告はほとんど見ません。JR等の鉄道交通関連と密に連携して真鶴へ人を呼び込めるツアーを多く企画すべきと考えます。</p> <p>(2) 岩小学校体育館跡地有効活用や、真鶴港・岩海岸の砂浜を活かしたフェスの誘致、イベントスペースの設置 コンサート等のイベントが真鶴で開催された話をほとんど聞きませんため、開催しやすい環境へ整備すべきです。</p> <p>(3) マラソン (RUNNET) 半島マラソンは一部の団体が対象となっており、広く一般を公募できるマラソンのイベントを開催してほしいです。マラソン大会は多くの人を訪れ、飲食店・旅館の活性化に大きく寄与するため有効と考えます。</p> <p>■ P22の短期事業の概算事業費について グランドデザインに記載されている短期事業の予算のうち、真鶴駅の割合が少なすぎです (全体の1%)。</p> <p>(1) 「駅ロータリーの利用実態調査や、公共交通の活性化や再生の考え方も取り入れた、利用ルールの変更」 多くが県の事業に依存しており、真鶴町でできることをもっと真剣に検討すべきです。駅ロータリーの利用実態調査だけでは足りなくて、棚上げしてる問題に着手すべきです。</p> <p>(2) 長期的な取り組みに棚上げしている施策が多すぎます 真鶴駅の短期事業の割合を増やし、「長期」として棚上げしている取り組みを細分化し、それぞれ各項目の調査や、関係者への調整だけでも一部着手する事業費に見直すべきです。</p> <p>①送迎専用のスペースの整備 ②駅北側への商業施設の誘致 ③ヘリポートの設置 ④駅周辺に道の駅等の誘致 ⑤南北を結ぶ道路・橋りょうの整備</p> <p>(3) 真鶴駅バス停留所の移転 駅ロータリーと大きく括られているため、タクシー・渋滞対策の道の拡張・一般車の乗り入れの安全対策等さまざまな課題が多く、長期化すると考えられます。移転しやすいのがバス停留所であり、現在ロータリーで一番に場所を取っているのがバスではないでしょうか。 わざわざ駅入口の目の前にする停留所がある必要はないと考えます。駅の少し横 (釣具店付近やJA側) に移転するのは一般的と考えます (例：熱海駅、二子玉川駅)。</p> <p>昨日2/2提出内容と別に、短期事業の概算事業費にスコープをあてて分析しました。 総じて、短期事業の概算事業費の配分がアンバランス、かつ成果が期待できません。 岩牡蠣は政治的な意図か、全体の事業費に対して偏りが激しすぎます (費用をかけすぎ)。 一方で、真鶴駅周辺地区のグランドデザインのような難しい調整事項 (長期化しやすい道路・鉄道事業が関連する) の多い事業を棚上げし過ぎです。 町の関係者との協議や町役場の若手職員を対象としたワーキングを実施したとのことですが、町役場の若手職員に重荷を押し付けていないかとても心配です。 真鶴駅周辺地区こそ、真鶴へ訪れる人への「顔」であり重要な成功要因ではありますが、グランドデザインに記載されている短期事業の予算のうち、真鶴駅の割合が少なすぎです (全体の1%)。</p>			

No.	意見	種別	区分	町の考え方
	<p>県事業だけでは期待できません（国の事業は記載が見つかりませんでした）。</p> <p>真鶴駅の課題こそ、中堅やシニア・上層部が粘り強く調整しないと、なかなか前に進まない課題が山積みです。町長がいつも言うA L L真鶴の精神で、中堅やシニア・上層部も強みを活かして真鶴駅の課題にみんなで積極的にチャレンジすべきです。</p>			
6-1	<p>1 岩漁港周辺地区グランドデザインに対する意見</p> <p>産業振興と共に「幼児連れ家族の海水浴場」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・養殖漁業振興</li> <li>・漁業職業教室</li> <li>・海洋学習、国大による環境学習</li> <li>・民宿・釣宿・釣り船のPR</li> <li>・安全な磯釣り場、駐車場の整備</li> <li>・海水浴場整備（下水流入対策、シャワー、更衣室、クリーンで安全な砂浜）</li> <li>・夏季のバス増発</li> </ul>	岩漁港	C	ご提案の内容は、取り組みの方向性と同様であると思われるので、取り組みを具体化する際の参考にさせていただきます。
6-2	<p>2 真鶴半島地区グランドデザインに対する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境保全事業</li> <li>・自然教育、環境教育</li> <li>・遊歩道、公園、案内板、ベンチ、道標整備</li> <li>・花畑、花木の群生</li> </ul>	半島	C	ご提案の内容は、取り組みの方向性と同様であると思われるので、取り組みを具体化する際の参考にさせていただきます。
6-3	<p>3 真鶴港周辺地区グランドデザインに対する意見</p> <p>産業振興と共に「関東随一の海辺遊び場」提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・養殖漁業振興</li> <li>・漁業職業教室</li> <li>・海洋学習、海辺の生きもの館</li> <li>・民宿・釣宿・釣り船のPR</li> <li>・安全な磯釣り場、駐車場の整備</li> <li>・夏の水遊び用テント場拡張</li> <li>・祭事</li> <li>・海鮮料理店・屋台 …団体用のみでなく、家族、小グループ用や1人、2人の個客用に気軽に入れる屋台、テント食堂などで低価格メニュー提供</li> <li>・夏季のバス増発</li> </ul>	真鶴港	C	取り組みを具体化する際の参考にさせていただきます。
6-4	<p>4 真鶴駅周辺地区グランドデザインに対する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・街並み美観地区に指定し、建物の建築・外観基準を設ける</li> <li>・美観を損なう跨線橋を撤去。JR北口開設を交渉する。北口は電子カードによって通行自由とし、階段なしのエレベーターのみも可とする。</li> <li>・地下道の出入口をスロープ化し、アプローチを美化するか、埋め戻してスクランブル交差点にする。</li> <li>・ロータリーの美化、花壇、植木、ベンチ、日よけの設置、電柱地中化。</li> <li>・JA売店と漁協が共同で、「真鶴の果実・野菜と魚介」を販売する。</li> <li>・住民価格の定食食堂を誘致し、住民及び遊歩客への利便性を高める。</li> </ul>	駅	C	取り組みを具体化する際の参考にさせていただきます。
6-5	<p>5 その他グランドデザイン全体に対する意見</p> <p>“自然と調和した美しく、住みよい町づくり”</p> <p>美しい自然が保全され、街並みが美しく、そこそこの利便性がある住みやすい町であれば人は集まる。そのため、一住民生活の利便性を高める。</p> <p>(交通通行)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・車優先から歩行者重視に切り替え、歩道付き車道、専用歩道を区分し、階段歩道を増やす。街灯・防犯カメラの設置数を増やす。</li> </ul>	全般	C	取り組みを具体化する際の参考にさせていただきます。

No.	意見	種別	区分	町の考え方
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃屋・空き家跡を緑地、駐車場として活用し、車道を減らす。</li> <li>・町内循環バスを通勤・通学・買物時間に合わせて6-21時間に5-6本運行</li> <li>・線路の南北通路改善</li> </ul> (通信) <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共・観光施設に無料Wi-Fi</li> </ul> (買物) <ul style="list-style-type: none"> <li>・スーパーへのネット注文・配達、御用聞き販売導入</li> </ul> (育児・教育) <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園、スクールバス</li> </ul> (医療・介護) <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問型の普及</li> </ul> 街並み美観地区を指定・整備する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・駅前、大道商店街</li> <li>・歩道、電柱地中化、建物外観基準、ベンチ、道標、街灯</li> </ul>			
7-1	1 人口対策（まずは過疎指定からの脱却を） 具体策 ○企業の誘致 (1) IT関連、ICのデザイン関連会社の誘致は若い人の定住にもつながるし場所も格別必要としない。空家対策にもつながる。 (2) 漁業法改正によるもの <ul style="list-style-type: none"> <li>・町の運営から民間企業の立ち上げと誘致</li> <li>・待ちの漁業から攻めの漁業へ (温暖化による潮の流れや水温の上昇に伴い漁獲量も変化している。岩牡蠣以外にも養殖で真鶴ブランドを)</li> </ul> ○水の管理 (1) 水道民営化法への対策 <ul style="list-style-type: none"> <li>・運営会社の設立</li> <li>・住民の理解を得られる将来を見据えた下水道等工事</li> </ul> ○観光振興 (1) イベントの見直し <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内で重複するイベント（豊漁祭や頼朝祭）は町外より集客が望めない</li> <li>・極力無駄を省く</li> <li>・貴船祭りの再構築</li> <li>・近隣の観光地との共同開催</li> </ul> (2) 町の資産の運用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・中川一政美術館等々全国レベルでPRする</li> <li>・町内の有料美術館との利益の共有による美術鑑賞ツアーを実施する</li> </ul> (3) 将来構想 <ul style="list-style-type: none"> <li>・駅前には温泉を引く（湯元はゆとろ嵯峨沢温泉付近のボーリング或いは湯河原）</li> </ul> (4) 空き家対策 <ul style="list-style-type: none"> <li>・所有権者の確認</li> <li>・若い世代への低家賃での貸出制度</li> </ul>	全般	C	すでに取り組んでいる事業等もありますが、いただいた多くの事業提案は、取り組みを具体化する際の参考にさせていただきます。
7-2	2 真鶴町ランドデザインに対する感想 誠に辛辣な事を申し上げさせていただきますが、計画が総花的で無駄が多い。 何故、町内を4地区に分ける必要があるのか。全体的にはホームページにある、未来を築くビジョン 後期基本計画実施計画書（平成	全般	D	グランドデザインは計画ではなく、真鶴町が目指す方向性を示した構想ですので、掲載したすべての事業を実施するものではありません。その時々予算や状況等から判断するため、さまざまな分野から

No.	意 見	種別	区分	町の考え方
	29年度～平成31年度)の延長線上にある。格好ではなく、計画実現に向けて、具体的に如何に実施するかという事ではないか。 役場の若い世代の奮起を促す。もっと外に出て見聞を広めてはどうか。島根県の海士町と姉妹都市であるのであれば海士町役場の方針などは参考になる。 過疎債は無駄を省き有効活用をお願いします。			実施の可能性のある事業を掲載しています。
8-1	1 はじめにに対して グランドデザインは、「町が目指していく姿を描いた青写真」であり、「今は、具体的に事業として推進する際には、このグランドデザインを参考にする」と述べる一方で、「本書中に示す今後の取り組み」は、「今後の開発、整備を決定、拘束するものではない」としている。これでは今後グランドデザインが無視されることもありうることを宣言しているようなもので、グランドデザイン軽視であり、問題である。 グランドデザイン、これから離れれば、100年後の真鶴は衰退し、消滅するかもしれない根本的な施策であるので、これまでの町の計画、あるいはこれからの計画は、グランドデザインとどのような位置関係にあるのかを常にあきらかにしておく必要がある。	全般	D	グランドデザインは計画ではなく、真鶴町が目指す方向性を示した構想ですので、掲載したすべての事業を実施するものではありません。その時々予算や状況等から判断するため、さまざまな分野から実施の可能性のある事業を掲載しています。
8-2	2 未来のために持つべき視点に対して 議論の前提となる「現在起きている事象」の内容が、あまりにも真鶴地域とかけ離れている。「起きている」でなく、真鶴に遅かれ早かれ、あるいは、多かれ少なかれ影響を与えるであろうと予想される事柄、とすべきである。 「未来は、・・・？」は、暮らしやすくなる根拠を述べているはずであるが、①「会社に行かなくても仕事ができる」②「外出が減り人との接触が減る」③「買い物がネットですべて完結」、では、社会性が人間の本质であることを否定し、孤立することを助長することになり、「健康寿命が短くなる」に至っては、「人生100年」という言い方で示す方向とも矛盾するのではないかと。表現の再考を求める。	全般	A	5ページの記述は、日本国内で起きている事象であり、真鶴町にも起こり得ることであることがわかるような表記に修正しました。
8-3	3 グランドデザインを推進するうえでの課題と長期的な将来イメージに対して 課題と想定される取り組みを4つの柱、すなわち、人口対策、産業振興策、観光振興策、生活利便策に分類し、のちに提起する4地区のデザインが、この4つの柱のうちどの柱に重点を置いたものかがわかるようになってきているが、各地区のデザインでは、すべてを網羅しているわけではなく、偏りがある。例えば、人口対策の中であげられる、子育て、外国語の習得に対しては、4つの地区へ落とし込むと、岩漁港周辺で子どもの遊べる親水公園、真鶴半島地区で遊歩道・公園があげられているだけで、外国語習得はどの地区にもあげられていない。外国語のようにソフト面を重視した施策は、4地区だけでなく、別途項目を立ててまとめて提起すべきである。4地区ではない、全地区に関する部分を設け、子育て、医療・介護などの施策を一括して加えることを提案する。	全般	D	グランドデザイン策定の際に出された福祉や教育に関する意見や提案は、庁内で共有しそれぞれの分野で検討していきます。
8-4	4 真鶴駅周辺地区に対して はじめにの最後の部分では、町の計画や具体的な事案は、グランドデザインの拘束を受けないとした。例として、4つの地区のどこにも取り上げられていない外国語習得事案があげられ、これはその限りではじめにと整合するものである。だが、拘束を受けないを拡大解釈して、多数の人が反対する駅ビル構想は、当面短期的にはグランドデザインには載せていないが今後町が長期的に提起するとしても何ら拘束を受けない、という風に解釈することは認められない。 取り組みの方向性「駅ロータリー」の項目にある「改札口の橋上化」は、長期的な施策として取り上げられているが、これを実現するには、駅ビル構想が登場してもおかしくはない。この場合、駅ビル構想はグランドデザインの拘束を受けないといえるのか。グランドデザインは、この点曖昧である。駅ビル構想は、含まれていないと明言すべきである。 「その他」の項目のなかに、長期事業として「南北を結ぶ道路・橋梁の整備」があげられている。南北を結ぶ道路は、隧道の拡幅といえるものであり、南北を結ぶ橋梁は、駅ビル構想に道を拓くものである。この駅ビル構想を、グランドデザインの拘束を受けないとして進めることには、反対である。駅ビル構想はないと、はっきり示してほしい。	駅	C	関係機関と調整しながら、取り組みを具体化する際の参考にさせていただきます。
9	真鶴らしさを失わず、住みよい町、暮らしやすい町が根底にある本計画に賛成です。 方針は4つの柱から成っていますが、人口対策は異質のように感じます。他の柱が達成されることにより人口は増加するものと思うからです。 「教育」が一本の柱として欲しかった。 11月の住民討論会では、4地区のグランドデザインについての意見聴取でした。この案のP11までの前段が分からず参加者が多いようでした。町としてはどこかで発表していたかもしれませんが、参加者が同一の立場で意見交換ができるようにすれば、もっとよい意見が出たと思います。(今後の機会のため) 事業展開に当たっては、もっと重点事業をしぼって実施したらどうでしょう。長・中・短と分け5年位の短期で10項目位。どこで何を	全般	D	グランドデザイン策定の際に出された福祉や教育に関する意見や提案は、庁内で共有しそれぞれの分野で検討していきます。

No.	意見	種別	区分	町の考え方
	やっているのか町民には分からない。まず・・・を、と決めて。私は駅前地区と半島地区をまなづらしさと住民の利便性…からです。関係者の方が一生懸命すばらしい（案）を作ってくれたので、町民の1人として感謝の気持ちで書きました。ありがとうございました。			
10-1	○100年経ってもにぎわいのある町というのが遠すぎてピンと来ないのですが、そのことは裏返せば、100年過去のことも大切にしてい く、ということだと思います。先人の残した業績などを大切に、子ども達に残していくことが、現在を生活している私達に課せられた責務だと思います。	全般	B	8ページ真鶴町のポリシーに反映しています。
10-2	○P12 岩地区、古民家を活かしたカフェの整備について ・経営者の利益が出せるか？で問題ありますが、できたら良いと思います。 ○P13 町立民俗資料館のことが載っていないことは問題です ・岩と真鶴で小松石の産産を盛り立てた土屋大次郎氏（安政3年、1856年生まれ）が明治25年に建てた古民家です。明治の近代化に働いた土屋さん（3代続いた）のことや小松石のこと等々分かる展示物が豊富な資料館です。 ・ジオパークのこともランドデザインの中に触れられていないのも問題です。折角登録されたのですから。	岩漁港	B	12ページ取り組み1項目目「自然豊かな環境を売りにした、移住の促進」に反映しています。
10-3	○P15 半島地区内で子どもが…について ・お林展望公園をパークゴルフ場にしてしまったので、あのくらいの広さの公園を子どものために是非とも早く作ってほしいと思います。 ○P15 お林の環境調査・松くい虫被害対策について ・これからもしっかりと続けて下さい。そしてあの立派なお林を守って下さい。 ○P15 寿命を迎えるマツの有効活用について ・どこの地区にも先人の残した建物、資料館、石造物、瀬戸道、頼朝ゆかりの石碑等々、沢山の名所、旧跡があります。それらの案内板が整備されていません。切り出した松材で、各所の案内板を整備したら良いと思います。業者に製材してもらえばお金はかかりますが、しっかりした物を作れば、将来子どものためにも残せます。観光客にもマップを渡しているの、道順が分かるように矢印つきの道標も所々に置いてほしいです。マップと道標これらがそろって町に来られたお客様が歩くのが楽しくなるでしょう。	半島	B	15ページの各取り組みに反映しています。
10-4	○P19 100人規模が入れる飲食施設と大型バス…について ・これは大変なことです。夢はありますが、経営が成り立つかが問題です。 ○P21 美の基準や安全性を考慮して、大規模な地上の整備はなるべく行わず、駅前に地下街を整備するなどの地下の有効利用について ・確かに地下を掘れば土地が広がり、それで有効に使えたらと思いますが。そのための費用は莫大にかかると思われます。その費用をテナントを募集して出店した人に払わせたら解決するのでしょうか？小田地下でさえ一度は閉じてしまった始末。今はまた新しい資本を投入して賑やかさを取り戻していますが。箱根を控えている小田原でさえです。真鶴には残念ながらそこまで集客する力はないと思われま。後世に借金を残さないために、やはり地上を何とかする方向で考えるべきでしょう。よろしく願いいたします。	半島	C	関係機関と調整しながら、取り組みを具体化する際の参考にさせていただきます。
10-5	○P21～22 駅前ロータリーの利用実態調査や…利用のルールの変更について ・信号のない環状交差点（ラウンドアバウト）にすることはできないでしょうか？日本では安中市や長野の方でも試験的に作られているそうです。ぜひ考えてほしいです。 ・最後に、駅南北の円滑化のための跨線橋南側のエレベーターの設置は、何よりも早く設置工事に取りかかっていたいただきたいと思いま	駅	C	取り組みを具体化する際の参考にさせていただきます。
11	真鶴町ランドデザインの説明会に行った。議会傍聴をしていると、ランドデザインに関する質疑が数多くされ、答弁も財政的な裏付け、県代行などの方法etc.、かなり具体的な事案が出されている。で、具体的な計画案を知りたい、資料があればほしいと出かけたのである。冒頭のあいさつで町長は100年後の夢ですと語った。夢、結構、ただし夢には実現に向かう理想と、夢のままの夢想とがある。当然のことながら、行政の目標としては、夢想ではなく理想に向かしてほしいものである。説明会の内容は「絵に描いた餅」。総合計画も目を通したが、どちらも似たり寄ったり、「実現するといいいね」と願うばかり。 ランドデザイン(案)に関しては、異存はないが、問題は具体的な計画だ。総合計画も一応目は通した。代わり映えはしない。住民の知りたいのは具体的な計画だ。具体的な計画こそ、住民にきちんと話してほしい。行政のやり方としてはある程度計画ができ上がってから住民に知らせるのが常だが、住民生活に深くかかわってくる計画なので、小さなことから一つ一つ意見を聞いて集約していただきたい。住民の協力あってこそ実現できるものだから。	半島	C	取り組みを具体化する中で観光協会や商工会等と連携しながら検討します。

No.	意見	種別	区分	町の考え方
	<p>小さなことだけど、住民にとっては必要な件を上げる。グランドデザインに取り上げられている4つの地区、これを結ぶ道路。大道は県道なので、車道と歩道の区別の白線と緑線が引かれ、側溝もグレイチングで、平らになっているので歩きやすい。蛇足だが、大道の商店の方々が、店の前に植木鉢を並べてあって、感じがいい。しかし駅から岩に行く町道は、メイン道路でもあるにも関わらず、白線すら引いてない。側溝は部分的にグレイチングにはなっているが、一番車通りのある丸山線、消防から小田百までの間、白線は引かれているが、側溝はコンクリートのふたががたがた、歩行者にはとても歩きにくいし、障害者には危ない。ここは通学路でもある。白線も消えかかっている。町例規集で町道に関する条文も読んだ。グランドデザインも結構だが、こういった町民の生活に密着したところこそ優先されなければならない。</p> <p>一つ提案。時流に乗って、パワースポットを設定してはどうか。真鶴町はパワースポットに事欠かない。パワースポットめぐり、既存の神社仏閣はもちろんだが、内袋観音、お林の天辺のフィトンチットの霊気、極楽寺の洞窟、ご先祖の石碑などなど、コースをつくって宣伝したらどうか。途中お腹が空いたときに、磯料理もいいが、もっと簡単に食べられる、ファストフード、イギリスのフィッシュ&amp;チップスなど売ったらいいのでは。イギリスのフィッシュ&amp;チップスは美味しくないが、真鶴ならはるかに美味しいものができる。若い層、中年のウォーキングの人たちを狙って。立ち食い、食べ歩きもOK。ただしごみ箱の用意は必要。雑魚を使って、魚の説明をすれば、真鶴の人との親しみもわくのでは。観光商工会と話し合ってみて。</p>			
12-1	<p>1 岩漁港周辺地区グランドデザインに対する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・P12 にぎわいの創出欄にある「住環境が向上」に対する具体的な取り組みがないため、住宅の性能向上（耐震、断熱、バリアフリー改修促進）を加えてほしいです。</li> <li>・P13 ふるさと町民、の意味を補足してほしいです。</li> <li>・P13 岩ふれあい館の活用は、生活利便性向上だけでなく産業振興・観光振興にも繋がると思うので、○印を増やせるのではないのでしょうか。民間活用アイデアを募り、事業者を募集し、運営委託ではなくテナント誘致し家賃収入を運営費にまわすなど、自立した事業計画の先導を行政ができるとよいと考えます。</li> </ul>	岩漁港	A	13ページ取り組み2項目目の文中「ふるさと町民」を「真鶴を愛する方々」に修正し、8項目目「岩ふれあい館の整備と有効活用の検討」の産業振興及び観光振興に○を追加記載しました。
12-2	<p>2 真鶴駅周辺地区グランドデザインに対する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・P21 地区の方向性欄にある「美の基準に基づく統一的な景観」を「美の基準に基づくどこか懐かしい景観」としてほしいです。真鶴らしさは統一感にあるのではなく、多様なものが重なり合って醸し出されるどこか懐かしい雰囲気、人の心を掴んでいると思います。</li> <li>・P21 地下の有効利用・地下街の整備は、費用対効果を考えて反対します。新たな開発ではなく、既存建物、既存商店街の活性化に取り組んでほしいです。</li> <li>・P22 建物の建て替えにあわせて、、、に続く文章を、小規模であっても美の基準を具現化できる設計を要請し、真鶴らしい町並みを継承する、としてほしいです。木材の活用はたしかに方法の一つですが、それで統一するような具体策は美の基準のどこにも書かれていません。</li> </ul>	駅	A	21ページ地区の方向性（めざす姿）「美の基準を活かした昔ながらの良さを活かす」の文中「美の基準に基づく統一的な景観」を「美の基準に沿った景観」に修正し、また、22ページ取り組み【商店街】2項目目の文を修正しました。
12-3	<p>3 全体について</p> <p>「何をどう守り残し活かすべきか」が曖昧な印象を受けました。ありきたりな町にならないようにするためには「真鶴の良さ、真鶴らしさ」をしっかり定義し、継承することが大切だと思います。</p> <p>新たに変えることに偏っているグランドデザインとなっている印象を受けたため、すでにあるものの価値を下げない、むしろその価値をきちんと見つけ、生かすような策もあわせて検討してほしいです。</p>	全般	B	8ページ真鶴町のポリシーの中に反映しています。
12-4	<p>4 スケジュールについて</p> <p>パブコメ募集から案の見直し、議会、完成まで1ヶ月半というのはあまりに短いと感じており、スケジュールの見直しを要望します。完成を急がず検討会を続けながら意見をきちんと反映して、少なくとも2019年度前期をかけて深めていくべきと考えます。</p> <p>協議会・意見交換会の議事録をみると直前まで意見交換会が開催されており、その内容の精査や整理、議論がこの期間で煮詰まるとは到底思えないことが理由です。第2回真鶴駅周辺地区構想会議（20181112.pdf）の意見内容「小さな幸せを大切に」「美の基準を活かした身の丈の町づくり」のくだりは「真鶴らしさ」を集約している言葉であり、加算的なグランドデザインの方向性に一石を投じるとも重要な議論だと思っておりますが、その思いがグランドデザイン案に込められているように感じられず残念に感じています。</p>	全般	D	会議の回数や時期、また期間が妥当かというご意見はありますが、完成までの日程は事業開始当初からお示ししてあるとおり、今回のパブリックコメントの意見を盛り込み、議会との調整を経て策定しました。
12-5	<p>5 方針について</p> <p>グランドデザイン案資料p.7の方針について、「にぎわいのある」という言葉だとどこにでもある町になってしまう（どの町もにぎわい</p>	全般	A	美の基準にある美しい町は、グランドデザインの根底にあると考えているので、その部分が明確になるよう、7ページの表現を変更し、

No.	意見	種別	区分	町の考え方
	<p>たいことは自明) のではないのでしょうか。『100年経っても美しい真鶴町』とした方が良くと思います。”美” というものをまちづくりのコンセプトにし、条例にまで上げているのは全国的に珍しいことで、継承すべき真鶴独自のテーマです。</p> <p>美しい町はにぎわいを生むので、”美” を前提に置き、それを守り育てる視点を込めた方が他にはないコンセプトとなり、以下の4つの柱も十分達成は可能と考えます。</p> <p>人口対策：”美” によるシビックプライドの向上、イメージアップ  産業振興：”美” によるブランディングの強化  観光振興：”美” による差別化された印象付け  生活利便性の向上：上記3項目による相乗効果</p> <p>6 ポリシーについて</p> <p>ランドデザイン案の資料中に、真鶴らしさを表す言葉として「豊かな自然と美しい風景」が繰り返し登場するが、豊かな自然は海とお林、で理解できるものの、美しい風景は対象が曖昧であると感じます。美しい風景とは、伝統的な産業が織り成す営みから醸し出される生活の風景、つまり自然を背景とした町並みや背戸道と定義できるのではないのでしょうか。</p> <p>その上で、資料p. 8の「ロケーション (=風景) の継承」の内容が薄いと感ずるため、”美” を標榜する真鶴町の価値を見つめ生かす意味でも以下の文章を記載すべきだと思います。(文体は同P. 8の自然環境の保全、に合わせました。)</p> <p>○『私たちは「場所」を尊重することによりその歴史、文化、風土を町や建築の各部に「格付け」、それら各部の「尺度」のつながりを持って青い海、輝く森、といった自然、美しい建物の部分の共演による「調和」の創造を図る。それらは真鶴町の大地、生活が生み出す「材料」に生まれ、「装飾と芸術」といった、人々に深い慈愛や楽しみをもたらす真鶴町独自の質をもつものたちに支えられ、町共通の誇りとして「コミュニティ」を守り育てるための権利、義務、自由を生きづかせる。これらの全体は真鶴町の人々、町並、自然の美しい「眺め」に包擁されるであろう。』、これは美の基準から抜粋したものです。</p> <p>○100年後も美の基準にもとづく町並みが残っているとすれば、それは全国でも貴重な存在となり、真鶴町の価値を高めるものとなるのではないのでしょうか。</p> <p>○真鶴で保全すべき美しい町とは、伝統的な産業が織り成す営みから醸し出される生活の風景、町並みや背戸道です。保全とは、保護と活用の両輪であると言えます。</p> <p>7 長期的な将来イメージについて</p> <p>5つのカテゴリーが並列されていますが、行政にしかできないのは基盤整備であると考え、基盤整備を最上位に位置付けてほしいです。観光や産業の発展は災害で町が失われなことが大前提ですが、災害対策の具体案がランドデザイン案にほとんど示されていません。具体的には地震・水害・火災に対する対策、住宅の老朽化対策・バリアフリー化についての考えを盛り込むべきと考えます。</p> <p>特に真鶴は斜面地が多く災害時の崩落危険性が高いです。また背戸道に沿った再建不可の建物が多いことから、それらを生かし続けることが宿命的に求められます。迫りくる大地震に備えるために耐震改修が必須ですし、増えゆく高齢者の健康維持には住宅の質の向上(断熱・バリアフリー)も欠かせません。安心・安全に暮らしをつないでいくには改修を促進していく必要があるにもかかわらず、真鶴町は神奈川県で唯一耐震改修に対する補助金がないので今後の改善を期待しています。</p>			また、8ページの真鶴町のポリシーに「美の基準の継承」を追加しました。
12-6	<p>8 主要地区の設定について</p> <p>駅周辺の活性化だけでなく、真鶴の町中央部(かつての真鶴銀座商店街あたり)を駅から港への結節点として賑わいを呼び戻す方が良くと思います。歩いて楽しめるのが真鶴の良さでもあるので、人を町中に引き込むべきです。それは観光客にとっても、町民にとっても幸福を増すことになると思います。駅周辺また港周辺だけ活性化しても繋がりが失われ、格差を招くことが懸念されます。</p>	全般	D	11ページ主要地区の設定に記載のとおりです。
12-7	<p>9 キャッチフレーズについて</p> <p>P24 キャッチフレーズは不要だと思います。ありきたりの言葉が並んでいて真鶴らしさが伝わってきません。せつかくの厚みのあるランドデザインに対して軽薄な印象を与え逆効果ではないのでしょうか。</p>	全般	D	子どもからお年寄りまでだれもが親しみをもてるように入れてあります。「わくわくが止まらないまち」を目指してまいります。
12-8	<p>10 その他要望：看板について</p> <p>美しい風景、町並み保全のため、看板に対する景観規制(設置・撤去の管理、美の基準に則した審査をするなど)を取り入れてほしいです。特に、すでに存在しない施設の看板が撤去されずに残っていることは観光地として来訪者に良い印象を与えないので、行政から事業者へ撤去を指導できるようになったらよいと思います。</p> <p>これからの真鶴町に期待しています。よろしく願います。”</p>	全般	C	取り組みを具体化する際の参考にさせていただきます。

No.	意見	種別	区分	町の考え方
13	<p>グランドデザインのような町が実現したら、本当に素晴らしいと思う。でも、“にぎわい”よりは“安全安心”を求めている人が多いのではないだろうか。右肩上がりの成長はむしろ幻想に近いので、暮らしやすさや安心に重点を置いてほしい。町民憲章や真鶴時間の趣旨はその点にあると思うし、持続可能な社会の発想は大切だと思う。コンパクトな町だからこそできることをもっとアピールしていけば良い。</p> <p>子育てサロンに来たお母さんに「横浜に住む友人が産後うつになった。真鶴でも産後うつはあるのか？」と尋ねられたが、私はまだこの町で耳にしたことはない。この町では、いい意味で子育て中の人を放っておかないのだろうと、その場にいた人で話をした。昔ほどの濃いつながりはないが、周りの人を気にかける適度な関心があり、安心につながっていると思う。</p> <p>大道商店街については、だんだん寂しくなることが気になっている。他の町でもすでに試みているように、起業して店を出したい人を優遇し、育てる策を考え、町の中の潜在的な力を引き出したり、外からの新風を巻き込むのが良いだろう。</p> <p>以前、まちづくり条例の研究に来ていた学生がコミュニティ真鶴を見て、小松石の木っ端をほしがっていた。石屋さんの話では運送を自分ですれば持って行っていい、とのことだった。需用があるなら木っ端も活用するといい。干物やみかん以外の土産物の開発が必要だと思う。日持ちがして単価が低いものを女性は求めている。</p> <p>岩地区については、センスの良い看板に屋号を表示して、昔の街並みを彷彿させる観光のあり方もおもしろいと思う。大上、下、陣屋、<small>おおかみ しも じんや</small>提灯屋、<small>ちようちんや ぎゆうや しんでん</small>牛屋、新田など、かつての町の様子や生活の営みを思い浮かべることができるし、すでに屋号を知る人が減っているので、取り組むとよい。</p> <p>グランドデザインを進めるには、役場内の各課がお互いに連携し、情報を共有し、これが絵に描いた餅にならないよう、実現に向けて邁進してほしい。すでにあるもの、できていることは大切に、足りないところは力を出し合って、実現できることを具体的に知らせてほしい。</p>	全般	A	<p>「安全安心」は、グランドデザインの根底にあると考えているので、その部分が明確になるよう、7ページの表現を変更しました。</p> <p>8ページ真鶴町のポリシーに「幸せをつくる真鶴時間」の考え方を取り入れる旨を追加しました。</p>
14	<p>日頃よりこの真鶴町がすみよい安心して暮らせる町になるために、役所の皆さんが日々、努力してくださっていることに感謝しています。私はこの真鶴町を老後の住まいと考え、東京より引っ越してまいりました。丁度、意見を述べさせてもらえる機会に遭遇し喜んでます。</p> <p>なので、なおのこと、この町が変わってしまわないよう自然のよさを残して行って下さるよう期待します。とはいえ、提案にも謳われているよう「活性化」はして行って欲しいと思います。決して都会のようなうるさく、けたたましくないような、落ち着いた、一人ひとりが生き生き生活できるような活性化を期待します。“訪ねてよかった、住んでよかった”といえる町になって欲しいと思います。</p> <p>そのためにも、以下のことを希望します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状を大きく変える町づくりは望みません。</li> <li>・すでにある「町民憲章」や「幸せを作る真鶴時間」に加え、「まちづくり条例」などもあると聞きます。すでにあるものを大切にしたいです。不勉強で内容については理解していませんが、「幸せを作る真鶴時間」は、すてきなテーマですね。知りたく思います。</li> <li>・過疎対策は独自に追及しなければならない課題だと思います。住んでくれる人を呼ぶだけでなく、住んでいる人がずっと住み続けたいと思う町になることがまず大事で、住民要求をもっともっとくみ上げ実現して欲しいです。プロジェクトチームなどを作り、取り組んで欲しいです。(既にあるのかも？あるとしたら報告が欲しい)</li> <li>・長期、中期、短期という目標を持って進むという計画だそうですが、それぞれ内容を明確化し、1つ1つ住民に意見を問うような形で進めて欲しいです。特に短期目標については予算の裏づけも含めての具体化を願います。</li> <li>・将来のデザインにつき、住民から出されたさまざまな意見を整理し、更に広くさまざまなアイデアを募集し、住民の力、エネルギーを利用して欲しいです。</li> </ul>	全般	A	<p>8ページ真鶴町のポリシーに「幸せをつくる真鶴時間」の考え方を取り入れる旨を追加しました。</p>
15-1	<p>1 真鶴町グランドデザインを多くの町民の理解と支持を得て、長く活用してゆくためには特に下記への留意が必要と思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グランドデザインの位置付けは、各種計画との関係を分かり易く示すこと。例えば、「今後のまちづくりの指針…」とあり、上位的イメージだが、他に”参考・方向性“等も使われていて、今ひとつ分かり難い。担当範囲、連携（リンク）等もう少し分かり易いと良いが。</li> <li>・グランドデザインの見直し（時期・方法等）についての規定・ルール化。</li> <li>・各種計画との整合性の検討・確保をしっかりと。そのための仕組み作りも。例えば、駅周辺構想検討会等で検討されてきた、右折レーン設置、信号導改善等安全関連の事業は適切な対応を望む。この種の齟齬がないかチェックが必要。</li> </ul>	全般	A	<p>8ページ真鶴町のポリシーに「幸せをつくる真鶴時間」の考え方を取り入れる旨を追加しました。</p> <p>10ページ「長期的な将来イメージ」は、掲載順の入れ替えや、内容を一部修正しました。</p>

No.	意見	種別	区分	町の考え方
	2 グランドデザイン策定の基本となる方針、ポリシー、課題、特に「長期的な将来イメージ」は、“策定の要・検討の基礎”となるもの。ここが的確、充実していないと、信頼されるグランドデザインができないと思う。その点でやや物足りなさを感じる。例えば、「将来イメージ」に歴史、伝統・文化や住民の暮らし・行事（真鶴時間）や地場産業等真鶴の誇り・愛着・魅力などの観点を盛り込む方がよいのではないか。			
15-2	3 主要4地区の選定は理解できるが、地区範囲の決め方でその地区のグランドデザイン内容が変わることがあるとの認識も必要。特にグランドデザイン策定に関連して。例えば、真鶴駅周辺地区の山側をもっと拡大したらどうなるのか。岩漁港周辺地区に有料道路IC等を含む大ケ窿を加えたらどうなるのか。 4 グランドデザイン策定は主要4地区グランドデザインを単にまとめるだけでは十分でないと思う。 ・まず、各地区グランドデザインの連携、相乗効果等の視点からの考察。 ・4地区以外の地区、例えば、住民の多い中央部（昔ながらのまちなか）、別荘等多い周辺部、更に広域農道を含む山側地区などを加えて、真鶴町全体として総合的視点からの考察が必要と思う。	全般	D	11ページ主要地区の設定に記載のとおりです。
15-3	5 イメージパースはもうひと工夫して欲しい。（視覚イメージのアピール力は大きい）。例えば、残したいランドマーク（貴船神社、瀧門寺、三ツ石等）を組み込むと真鶴町グランドデザインらしくなり理解も増すのではないか。また、半島では自然学習、観光を、駅前では「門口として」の“取組”のイメージがもう少し伝わる工夫ができるとよいと思う。	全般	A	イメージしやすいように各地区のランドマーク写真を追加しました。
16-1	1 岩漁港周辺地区グランドデザインに対する意見 ・岩の風景の何が魅力で、それをどのように高めていくのかといった視点が重要と考える。 ・古民家カフェも周りの家並みや港の風景に溶け込んで人を惹きつける魅力が作られる。それなしでは継続的に人は訪れないし、商売が成り立たないだろう。 ・岩牡蠣には期待している。港を整備し、その雰囲気の中で海の幸を提供するという考えは理解するが、早川漁港の二番煎じではすぐに飽きられ長続きしないと考える。やはり、すべてに岩の雰囲気が漂う風景が大切。	岩漁港	C	グランドデザインは構想ですので、取り組みを具体化する際の参考にさせていただきます。
16-2	2 真鶴半島地区グランドデザインに対する意見 ・難しいことですがお林を中心に自然環境を健全に保つために手入れが必要。 ・首都圏を中心にグリーンツーリズムや自然回帰を好まれる、特に、若年層を対象に「お林サポーター・里親制度」などのプログラムを考えてみたらどうでしょう。 ・お林の環境は幼児というより、レインジャーに引率される高学年の児童生徒を対象とするレクリエーションのフィールドだと思います。 ・予算化された短期事業はどれも必要と思います。我が家から見ていた絵になる松の木二本が枯れているようです。対策で復活できますか？	半島	C	グランドデザインは構想ですので、取り組みを具体化する際の参考にさせていただきます。
16-3	3 真鶴港周辺地区グランドデザインに対する意見 ・海から見る小さな港、行きかう小舟やヨット、背後斜面の家並みが作る景観は、地中海の小さな港町の魅力的な景色に引き劣らないポテンシャルがあると評価しています。願わくば、もう少し美意識をもって、景色の向上をお願いします。 ・海際の倉庫や建物が道路際からの海の景色を塞いでいます。殺風景な駐車場も景色を台無しにしています。もったいない！ ・今のウォーターフロントは散策する気分になれない。活性化整備計画のパースにも魅力を感じられない。 ・魚座は階段やテラスに花を飾るだけで周囲から見た景色が変わります。1階の駐車場は広場にして天気の良い日にはイス・テーブル・パラソルなどでおしゃれな街に変身させると楽しい空間になると思います。民業とも共存できるはずです。本当にうまいものを出せば客は入ります。	真鶴港	C	取り組みを具体化する際の参考にさせていただきます。
16-4	4 真鶴駅周辺地区グランドデザインに対する意見 ・既存資源を再評価したらどうでしょう。電話ボックス周辺の石碑一带は幼児連れのお母さんが数組よく集まっています。アクセスしやすく駅・タクシー・観光案内所・派出所などから目の行き届く安全な場所で、駅コンビニ、トイレもあり便利です。子連れ、観光客、中高生のたまり場として使えそうです。 ・駅前駐車場東京駅間のアクセスを完全すれば利用勝手は良くなる。トイレはきれいに（町中の情報センターも）。屋根のある外の待合所もきれいにすれば使いやすい。喫煙禁止は守りましょう。 ・町中は30kmの速度制限です。R135号も駅から500m程度を30kmにすれば重大な事故は起きない。ゆっくり暮らすことは真鶴スタイルと	駅	C	今後は関係機関と調整しながら、取り組みを具体化する際の参考にさせていただきます。

No.	意見	種別	区分	町の考え方
	考えます。ただ、ロータリーと接続道路の交通処理は大変難しいと思います。是非専門家による交通計画をお願いします。			
16-5	5 その他グランドデザイン全体に対する意見 ・グランドデザインの柱に「真鶴町らしさ（魅力）の向上」を加えて、5つの柱とすべきである。グランドデザインP4にあるように“利便性を追求したまちづくりをすれば、真鶴らしさは失われ”る。もしそのようなグランドデザインであれば策定の目的の根幹が失われる。人口対策、産業振興、観光振興、生活の利便性の向上だけでは真鶴町がこれまで培ってきた真鶴町の魅力を維持できるという保障はない。すべての施策で真鶴町らしさの維持・向上が前提になる。	全般	A	「真鶴町らしさ（魅力）の向上」は、グランドデザインの根底にあると考えているので、その部分が明確になるよう、7ページの表現を変更しました。
17-1	1 岩漁港周辺地区グランドデザインに対する意見 古民家カフェなどの発想に縛られず、民間にそういった内容は任せてほしい。「古民家を自由に活用してほしい」だけで民泊や会議室やゲーム、ロケなどいくらでもチャレンジできるはず。	岩漁港	C	グランドデザインは構想ですので、取り組みを具体化する際の参考にさせていただきます。
17-2	2 真鶴半島地区グランドデザインに対する意見 ARやICTの活用も説明会での内容を聞く限り失敗しか想像できない。コンテンツ作りを画策するのは良策ではない。4Gが絶対に途切れない環境、5Gが真っ先に導入される環境、どの施設や家庭でも都心レベルの高速光通信が整備されていることのほうがよほど素晴らしいコンテンツを育む。 箱物を作るというわけではないが、インフラを整えることに集中してほしい。	半島	C	グランドデザインは構想ですので、取り組みを具体化する際の参考にさせていただきます。
17-3	3 真鶴港周辺地区グランドデザインに対する意見 観光客も住民も避難できる施設や駐車場シェルターなどを十分に整備することが優先ではないか。特に港周辺は津波で大きな被害が予想できる。行き交う人を増やすなら、増えた人たちも安全に誘導できるような状態でないと意味がない。	真鶴港	C	取り組みを具体化する際の参考にさせていただきます。
17-4	4 真鶴駅周辺地区グランドデザインに対する意見 信号の切り替わりのタイミングで駅前交差点内で停車してしまう車が多発している。変則交差点の構造自体見直すべきで、この問題には駅・駅ロータリーも大きく影響する。直ちに組み込む問題だと感じる。 また、大道商店街も両脇に路上駐車があふれ、安全な通行ができないなど、問題を抱えている。にぎわう前に自動車をさばききれるキャパシティをちゃんと整えるべきと思う。	駅	C	今後は関係機関と調整しながら、取り組みを具体化する際の参考にさせていただきます。
17-5	5 その他グランドデザイン全体に対する意見 にぎわいとは何でしょう。20代の私にはにぎわっている真鶴町を知りません。「かつてのにぎわい」は一定以上の世代にしか通じないワードではないでしょうか。みんなの共通言語になっていない曖昧な単語が頻出することに違和感を覚えます。 どれほどの人数が、どのような行動をして、どのような経済効果を生み、観光客や住民はどのような状況になっているのかを具体的に思い描き「にぎわいってこういうことだよ」と定義してから使うべきフレーズなのではないでしょうか。 「かつての」のように過去を参考にしたところで過去にスマホはありません。過去にインターネットはありません。過去の普通は今の非常識で、未来には存在しないかもしれません。未来をどういう形で作るかに意識をフォーカスしなければグランドデザインというには不十分なビジョンだと感じます。 また、ハードの整備はお金がかかることですのでソフト的な改善提案に理解は示しますが、今の真鶴町はハードが昭和のままなのではないでしょうか。 20年前のパソコンでは今の最新のソフトが動かないように、ソフトだけを最新にしても機能不全に陥ります。 行政はとにかくインフラの整備に注力してほしいと思います。 また、この投稿フォームは一定時間でエラーになるようで、2時間近くかけて書いた内容が一回全部消えました。パブリックコメントの募集というのには向いていないプラットフォームではないでしょうか。改善を望みます。	全般	D	グランドデザインの策定にあたり、幅広い年代の町民からご意見をいただく機会を設けながらグランドデザインの方針も検討してきました。グランドデザインの方針を実現するため、取り組んでまいります。